

# 公民館だより Toyosato No. 72

豊里コミュニティ推進協議会

豊里公民館広報

4月号

平成31年4月1日発行



## 31年度事業スタート **お気軽にご参加下さい**

平成31年度のスタートです。本年度も公民館事業や地域づくり事業など、盛り沢山の事業を計画しています。皆様のご参加、ご協力をお願いいたします。

4月～3月 (毎月、随時)

囲碁将棋サークル



[対象] どなたでも  
[内容] 交流、棋力向上

5月～2月

いけばな教室



[対象] 地区市民  
[定員] 18名

年2回(後日お知らせ)

寄せ植え教室



[対象] 地区市民  
[定員] 30名

6月16日 登山のつどい



[対象] 小学4年生以上  
小学生は保護者同伴  
[定員] 15名

6月～3月

女性セミナー



[対象] 70歳までの成人女性  
[内容] 教養講座、移動研修等

6月～2月

シニアいきいきセミナー



[対象] 65歳以上  
[内容] 教養講座、移動研修等

7月～3月 料理教室



[対象] 地区市民  
[定員] 20名

7月～ 成人事業

[対象] 成人男女  
[定員] 20名  
詳細は別紙ちらし



7月・11月・1月

歌声喫茶



[対象] どなたでも  
[内容] 歌と珈琲等

8月15日

コミュニティ夏祭り



楽しいイベントがいっぱい

9月1日

市民大運動会



全員参加で盛り上げよう

9月～12月

パソコン教室



[対象] 豊里地区市民  
[定員] 15名

11月 軽トラ市



11月 ちんどん講演会



随時 ミュージック・ケア



[対象] どなたでも  
[内容] 音楽体操、演奏、合唱等

日程は後日お知らせ

親子クッキング



[対象] 3～5歳児及び保護者  
[定員] 10組

これ以外の行事等もその都度お知らせします

## 絢爛豪華な『齋理雛』にため息も

～第6回女性セミナー移動研修～



2月20日、女性セミナー第6回学習会を実施。21名の皆さんが参加しました。

今回は仙南雛めぐりと題する移動研修で、丸森町の齋理屋敷と白石市の壽丸屋敷を見学しました。

齋理屋敷では、江戸時代の享保雛を中心に、市松人

形や雛道具、手づくりのつるし飾りなどが40畳の大広間に展示され、その豪華さに歓声があがりました。

また壽丸屋敷では、幅8mもあるひな壇にびっくり。

今回で今年度のセミナーも閉講。皆勤賞の3名の方に記念品を差し上げました。



## 春待ちちらし寿司ほか3品に取り組む

～第5回料理教室好評のうちに閉講～

3月7日、多目的研修センター農産加工実習室(調理室)において、第5回料理教室を開催しました。

今年度最終回となる教室には14名の皆さんが参加。春待ちちらし寿司を主食に、豆乳入りデザートを含めて

4品に取り組みました。

手際のよい作業で、豪華なちらし等が完成。調理後は閉講式を行い、6名の方に皆勤賞を差し上げました。

また試食タイムでは、今年度の感想などを出し合い、楽しく過ごしました。

## 自然保護と命の大切さを実感

### 豊里小5年生が鮭の稚魚25万尾を放流



2月19日、旧北上川の豊里水辺の公園において、豊里小5年生74名が鮭の稚魚

25万尾を放流しました。これは、北上川漁業協同組合と同豊里支部が主催し、

豊里公民館と豊里教育事務所の主管で実施。稚魚の放流体験を通じて自然と命の大切さを学び、川の愛護と環境保全の推進を図ることを目的として、今年で3年目になります。

稚魚は、昨年秋に捕獲した鮭から採卵し、体長5cm、

体重1gに成長したものを。放流は、一人一人が稚魚の入ったバケツを持ち、樋（とい）にゆっくりと丁寧に流し込んでいきます。

川に放流された稚魚は、銀色に光りながら飛び跳ね、元気に泳ぎ回る姿がはっきりと確認できました。

## 日本文化の粋を世界に発信

### 上町法印神楽、初の海外公演

国際交流基金が主催する『神楽東欧公演』に上町法印神楽と黒森神楽(岩手県宮古市)が選ばれ、2月17日から2週間の日程で、ハンガリーとポーランドですばらしい演舞を披露しました。

上町法印神楽は、「道祖」と「日本武尊」の演目を舞い、スタンディングオベーションの連続。両国ともに大反響・大評判でした。



4月13日(土)午後7時から報告会を行います  
会場：公民館中ホール どうぞおいで下さい

## 囲碁将棋サークルの集い なごやか交流で棋力をみがく



3月10日、公民館和室において、第12回囲碁将棋サークルの集いを開催しました。今回は、小学生3名を含

む13名の皆さんが参加。対局や局後検討、会話にと終始和やかに交流を深めました。

## とよさとの 17

### 人間国宝

### 世界遺産



## とよさとの 人間国宝

### 法印神楽保存に尽力45年 高橋啓一さん(上町)

宮城県指定無形民俗文化財、とよさとの世界遺産『上町法印神楽』は、350年の歴史があり、幾多の困難を乗り越えて保存活動がなされ、今日に至っています。

高橋啓一さんは、昭和49年保存会長に就任。以来45年にわたって並々ならぬ努力を重ね、保存・興隆に尽力されています。

高橋さんが会長に就任した当初は会員が5名。消滅寸前の状態だったといいます。そこから後継者募集、面や衣装の修復、舞型の復元など多方面に活動を開始。現在、努力が結実し継承・普及が定着しています。

2月には初の海外公演を行い、好評を博しました。

登米市の民俗芸能継承師にも認定されています。



勇壮華麗な上町法印神楽

約250年の歴史をもつ稲荷神社は、倉稻魂命、豊受姫命を主祭神とし、毎年体育の日の前日を例祭日に、勇壮な上町法印神楽が奉納されることで有名です。

神社の由来は、天正10年(1582年)武田勝頼の遺族が落ちのびて来て当地に居住したとき、沼崎経壇山に勧請。寛文2年(1662

## とよさとの「まめからさん」の愛称で 世界遺産 親まれる 稲荷神社

年)に現在の地に遷祀し、明治12年(1881年)に村社、同44年に供進社に指定されました。

神社の「まめからさん」の愛称は、祭りの時期が豆の収穫の最盛期で、周辺の豆畑が

多くの参拝人に踏まれ、豆殻が目立つほど賑わったことから、そう呼ばれるようになったといわれています。



町内外に信仰の厚い稲荷神社(上町)



桜の季節は境内もみごとな景観に

## 4月の公民館行事

月 日	行事内容	場 所
4月14日(日)	囲碁・将棋サークル	公民館和室

桜の開花時期には、学習館でドーナツ販売を行う予定です

## 編集後記

いよいよ新年度がスタートしました。

今年度もさらに充実した内容の事業・行事を進めて参ります。引き続きご協力をお願いします。(佐々木)